

1. 【福津誠和会】 秦 浩（45分）		
質 疑 事 項	質 疑 要 旨	備 考
1.はじめについて	① 7万人の市民の命、財産、暮らしを守る覚悟とは何なのか具体的に伺う。 ② 市民の皆様の信頼と期待に応えるとあるが、こういった舵取りで応えていくのか伺う。 ③ 市政に期待する多くの思いを「形」にできるリーダーを目指すとするが、そのリーダー像とは具体的にどのようなものと考えているのか。 ④ 暮らしを豊かにし、稼げるまちを作るとあるが、具体的な考えを伺う。 ⑤ 20周年を迎え、本市の更なる発展に取り組むとあるが、どのような取り組みを考えているのか伺う。 ⑥ 市民の人生のステージごとになされる適切な支援の具体策について伺う。 ⑦ 増収を導く稼ぐ施策などの財政の上手な舵取りとあるが、上手な財政の舵取りとはどのようなものなのか具体的に伺う。 ⑧ 市政に経営感覚を持ち込み、稼げるまちを実現し、市民満足度を高めるとあるが、具体的な方策について伺う。	
2. 次世代の人材育成について	① 福津の未来を担うこども達の成長を第一に考えとあるが、どのような取り組みが重要と考えているのか。また新たな取り組みなどを考えているのか。 ② 子育て世帯への切れ目ない伴走支援の具体的な考えについて伺う。 ③ こどもの権利擁護、保育・教育の質の向上を目指すため、何を最優先に取り組むべきと考えているのか。 ④ 新設小学校の建設の進捗状況と今後の見	

3. 産業と環境で未来を創造について	通しについて伺う。 ⑤ 福間南小学校の特別教室の不足や福間中学校における過密化などの課題も残っているとあるが、教室不足や過密化以外の課題はどのようなものがあるのか。 ⑥ 学校施設の改修とあるが、本市の学校施設への対応について、長寿命化も含め具体的にどのように進めていくのか。 ⑦ 学校給食費の負担の無償化について、その導入も含めどのように考えているのか。 ⑧ 定期的におむつなどの育児用品を無償で届けるサービスなどの子育て世帯への支援策について検討するとあるが、検討する支援策の内容とその見通しについて伺う。 ⑨ 財源確保のための、市長給与10%カットとあるが、これを選択肢の一つとした理由と考え方について伺う。 ① 商工業・農業・水産業・観光業の4つを統合し、新たな地域の総合産業を創出していくとあるが、その詳細と今後の進め方、期待する効果について伺う。 ② 農水産業の担い手不足について、いくつかの対応策を示しているが、どこから着手していくつもりなのか。 ③ 福津産品の流通拡大や新たな地域ブランドの構築の調査研究を行うとあるが、何を重点に調査研究を行い、いつまでにその結論を出すのか。 ④ 福津で起業したい個人や企業を呼び込みとあるが、どういう手法で呼び込むのか。 ⑤ 福津で起業したい人を応援していく場づくりの整備とは具体的にどのような施策になるのか。またその検討はいつまでに結論を出すのか。 ⑥ 宿泊施設の誘致や福津産品PRの具体的な方法について伺う。 ⑦ 地域の産業や資源と結び付くような企業	
---------------------------	---	--

4. 安心安全な共生社会の実現について	の誘致とあるが、具体的にはどのような企業を考えているのか。また誘致の具体的な進め方について伺う。 ⑧ 庁内プロジェクトチームの詳細について伺う。 ① 高齢者が社会の第一線を退いた後の人生を実りあるものにしていくにあたり、行政としてもその仕組みづくりを担うことで支援とあるが、具体的な支援策について伺う。 ② インクルーシブ保育・教育などの障がい者に対する理解の促進と支援、就労支援などを進めるとあるが、具体的にどのように進めていくのか。 ③ オンデマンド交通の導入を進めるとあるが、市の公共交通施策の中でどういう位置づけになるのか。また、その導入時期について伺う。 ④ インフラの適切な維持管理や雨水対策について、その現状と長寿命化を含めた今後の進め方について伺う。 ⑤ 災害に強い地域づくりについて、どのようなことに留意しながら取り組んでいくのか。	
5. 市民のチャレンジを応援について	① 市民税の減税とあるが、今考えている全体像について伺う。 ② 減税に関する庁内プロジェクトチームの詳細と調査研究結果が出る時期について伺う。また、その結果を受けての減税の実施判断はどのような段取りで進めていくのか。 ③ 稼げるまちづくりに向けた環境を整えるとあるが、具体的にどのような施策を打って環境を整えていく考えなのか。 ④ スポーツや文化・芸術に触れる、関わる機会の提供とはどのような方法を考えてい	

6. 活力ある市役所の実現について	るのか。 ① 時間短縮と経費節減により時間や財源を生み出し、その成果を新たなサービス実施のための活力とするとあるが、時間短縮などと新たなサービス実施との関連性についてその詳細を伺う。 ② ふるさと納税額が増加していく好環境を生み出すとあるが、福津産品の充実と発信について何か新たな取り組みを考えているのか伺う。 ③ 関係団体のもとへ出向き、意見交換するとあるが、具体的にはどのような手法を考えているのか。 ④ 市職員との対話について、具体的にどのような場面で対話を進めていく考えなのか。	
7. おわりにについて	① 基金の管理運用に関する課題について、どこが課題と考えているのか。また課題解決に向けて今後どのような対策を考えているのか。 ② 限られた財源の中で持続可能なまちづくりを進めるためには、数ある行政需要に対し緊急性・重要性等の視点から優先順位をつけとあるが、それを判断するに当たって、何が最も重要と考えているのか。	

2. 【新政会】 尾島 武弘（45分）		
質 疑 事 項	質 疑 要 旨	備考
1. 次世代の人材育成について	① 子育て世帯への切れ目ない伴走支援やこどもの権利擁護、保育・教育の質の向上など、安心してこどもを産み育てやすい環境の整備に取り組むとしているが、具体的にどのような施策を考えているのか伺う。 ② 児童・生徒の急増に伴う学校の過密化に対し、まずは緩和に向けた対策を教育委員会と十分な協議のもと取り組んでいくとしているが、現在どのような緩和策を考えているのか伺う。 ③ 学校施設の改修や福間中学校区の校区選択制、校区外通学制度などの対策を迅速に進めるとしているが、どのような方法でいつまでに行うのか伺う。 ④ 様々なこども・子育ての取り組みを実施するとあるが、特に実施したいと考えている施策を伺う。 ⑤ 様々なこども・子育ての取り組みを実施する上で、市長の給与10%カットによる財源確保も含めた市の収入増加策について、より効果的な手法を総合的に検討していくとしているが、効果的な手法とはどのようなものを想定しているのか。また事業実施に伴う必要財源はどのくらいを見込んでいるのか伺う。	
2. 産業と環境で未来を創造について	① カーボンニュートラルの推進に取り組んでいるが、具体的な内容と推進方法について伺う。 ② 持続可能なスマート農水産業を推進していくとしているが、具体的な内容と推進方法について伺う。 ③ 農水産品を活用した6次産業化や市の産	

3. 安心安全な共生社会の実現について	品の付加価値向上で、農水産業従事者の所得向上に繋げるとしているが、どのように所得向上に繋げていくのか具体的方策を伺う。 ④ 地域の産業や資源と結び付くような企業の誘致に取り組むために、庁内プロジェクトチームを設置し、調査研究を行うとしているが、いつからどのような体制で行うのか伺う。 ① 生活習慣病などの将来の疾病や発症リスクを予防医療の推進などにより低減していくとしているが、具体的な内容と推進方策を伺う。 ② 公共交通については定時定路線を基本に、同路線が行き届かない地域に対しては効率的な機能を有したオンデマンド交通の導入を進めるとしているが、何年度を目標にするのか伺う。 ③ インフラの適切な維持管理や雨水対策に取り組むとしているが、具体的な内容を伺う。	
4. 市民のチャレンジを応援について	① 物価高対策として、5%の個人市民税・法人市民税の減税を行うことは1つの有効な取り組みと考える。まずは減税に関するプロジェクトチームを設置し、減税を実施した場合における影響などについて調査研究を行うとしているが、予想される減税額と影響について伺う。 ② チャレンジする意思を持つ市民が活躍できる機会を創出する、稼げるまちづくりに向けた環境を整えるとしているが、具体的方策を伺う。 ③ スポーツや文化・芸術に触れる、関わる機会の提供や、郷育カレッジなど生涯学習に参加する機会の創出などに取り組むとしているが、具体的方策を伺う。	

令和7年第5回 福津市議会定例会総括質疑（令和7年6月）

5. 活力ある市役所の実現について	① DX化を進め、時間短縮と経費節減により時間や財源を生み出すとしているが、DX化で目標としている短縮可能時間と経費節減額について伺う。 ② ふるさと納税額が増加していく好循環を生み出していきたいとしているが、具体的方策と目標額を伺う。 ③ 対話などにより把握した市民ニーズに伝えていくとしているが、市民からの様々な意見や要望に対し、どの様に判断し、伝えていくのか伺う。	
6. おわりにについて	① 物価高などの世界的な状況の変化が本市にも影響を及ぼしているとしているが、どのような影響が出ていると考えているのか伺う。 ② 基金の管理運用に関する課題も出てきたとあるが、課題があるとしている基金の管理運用に関する見解を伺う。	

3. 【日本共産党】 戸田 進一（30分）		
質 疑 事 項	質 疑 要 旨	備考
1. 稼げるまちについて	稼げるまちを作るとあるが、その概要と今後の方針について伺う。	
2. 次世代の人材育成について	子育て世帯への切れ目ない伴走支援やこどもの権利擁護、保育・教育の質の向上など、安心してこどもを産み育てやすい環境の整備に取り組むとあるが、以下の点について、考え方や今後の方針を伺う。 ① 重点施策 ② 学校の過密緩和 ③ 子育て世帯支援	
3. 産業と環境で未来を創造について	様々な事業により農水産業従事者の所得の向上に繋げるや福津で起業したい個人や企業を呼び込み、新たな雇用の場の確保と地域活性化を図るとあるが、以下の点について、考え方や今後の方針を伺う。 ① 農水産業の振興 ② 企業誘致	
4. 安心安全な共生社会の実現について	安心安全な共生社会の実現とあるが、以下の点について、具体的な考え方や今後の方針を伺う。 ① 高齢者が人生を実りあるものにするための支援 ② 雨水対策	

令和7年第5回 福津市議会定例会総括質疑（令和7年6月）

5. DX化の推進について	行政組織としては自治体の様々な分野でのDX化を進め、時間短縮と経費節減により時間や財源を生み出し、その成果を新たなサービス実施のための活力としていくとあるが、DX化推進の考え方や今後の方針を伺う。	
6. 活力ある市役所の実現について	市民ニーズ把握のための市民との対話や行政諸課題の解決に向けた職員との対話とあるが、どのような考え方なのか。また、どのような手法で対話を進めていく考えなのか伺う。	

4. 【みんなの声によるみんなの会】榎本 博（30分）		
質 疑 事 項	質 疑 要 旨	備 考
1. 次世代の人材育成について	① 学校施設の改修や福間中学校区の校区選択制、校区外通学制度などの対策を迅速に進めていくとあるが、いつまでに行うのか。 ② こどもに係る医療費や第2子以降の保育料、学校給食費の負担の無償化、こどもの習い事に対する費用の補助などの財源の確保はできるのか。 ③ 市長自身の給与 10%カットによって生まれる財源の活用について、その効果の検証を行ったのか。	
2. 産業と環境で未来を創造について	① 商工業・農業・水産業・観光業の4つを融合し、新たな地域の総合産業を創出していくとあるが、具体的にどのような総合産業を描いているのか。 ② 福津産品PRの更なる促進を図るために連携できるIT企業など、地域の産業や資源と結び付くような企業の誘致に取り組むとあるが、その内容の詳細とどのような企業を想定しているのかを伺う。また庁内プロジェクトチームを設置するとあるが想定される構成員は。	
3. 安心安全な共生社会の実現について	① インクルーシブ保育・教育などの障がい者に対する理解の促進と支援、就労支援などを進めていくとあるが、具体的にどのような内容を考えているのか。 ② 路線が行き届かない地域に対してオンデマンド交通の導入を進めるとあるが、その方法といつまでに実現させるのかを伺う。	

4. 市民のチャレンジを 応援について	① 5%の個人市民税・法人市民税の減税を実施した場合の影響などについて、まずは庁内プロジェクトチームを設置し調査研究するとあるが、5%減税の根拠と庁内プロジェクトチームの構成員、またいつから取り組むのかを伺う。 ② 市民の生活基盤の安定を図る取り組みにより、チャレンジする意思を持つ市民が活躍できる機会を創出し、稼げるまちづくりに向けた環境を整えていくとあるが、その具体的な内容は。	
5. 活力ある市役所の実 現について	① 様々な分野でのDX化を進め、時間短縮と経費節減により時間や財源を生み出し、その成果を新たなサービス実施のための活力としていくとあるが、時間や財源の確保は具体的にどのように行うのか。また新たなサービスとは何を想定しているのか。 ② ふるさと納税に関しては、広く福津の製品の魅力の充実と発信を第一に考えてまちづくりに取り組むことで、結果的に納税額が増加し、好循環を生み出していくとあるが、具体的にどのような取り組みを行うのか。 ③ 市長が最も重視する対話の機会の創出に向け、様々な部署との対話も進め、各分野における行政諸課題の解決に向けて共に検討するとあるが、それを実現するための課題は何か。	
6. おわりにについて	① 住環境の整備によって、子育て世帯の転入を中心に人口が急増し、成長を続けている。この良い流れを滞らせないためにも「行政の継続性」は重要であり、現在進めているまちづくりに市長の思いに沿った取り組みを加えることでさらに成長し、住み続けたいまちになると信じているとあるが、人口急増と「行政の継続性」は	

令和7年第5回 福津市議会定例会総括質疑（令和7年6月）

	重要というこの二つの関係性について、どういう認識を持っているのかを伺う。また市長の思いに沿った取り組みとは何か。 ② 限られた財源の中で持続可能なまちづくりを進めるためには、数ある行政需要に対し緊急性・重要性等の視点から優先順位をつけ、柔軟に市政運営にあたる必要があるとしているが、本年度の肉付け予算の編成にあたって留意した点は何か。	
--	---	--

5. 【ミモザの会】豆田 優子（30分）		
質 疑 事 項	質 疑 要 旨	備考
1. はじめにについて	① 2月の市長選挙で市民の信任を賜ったと述べられているが、市長に直接的に信任を表した市民は、全有権者の約12.2%である。このことをどのように受け止めているのか。 ② 市政に経営感覚を持ち込み稼げるまちを実現とある。どのように持ち込めば稼げるまちになるのか。	
2. 次世代の人材育成について	① 喫緊の課題である学校の過密化緩和に向けた対策を教育委員会と協議のもと取り組むとされている。市長部局からの提案がされるのか。 ② ICT学習環境を活かした教育に取り組むとされているが、ネットワーク環境の整備は十分と考えているのか。 ③ 子育て世帯への支援策が列挙されているが、他自治体の事として記載しているものばかりである。国の動向を注視しつつ段階的な実施などの検討とあるが、具体的な実現時期を伺う。 ④ 市長給与10%カットとあるがその真意を伺う。	
3. 産業と環境で未来を創造について	① 生活利便性の高さ、良好な自然環境、歴史資産の豊かさなどがバランスよく交じり合いまちの魅力を形成しているとある。これらの魅力の保全について、具体策を伺う。 ② カーボンニュートラルの推進に取り組むとあるが、どのように取り組むのか。 ③ 企業誘致に取り組むための庁内プロジェクトチームを設置し、調査研究を行うとあ	

	るが、目標値をどのように設定しているのか。	
4. 安心安全な共生社会の実現について	① 社会の第一線を退いた高齢者の、その後の人生を実りあるものにするための仕組みづくりを担うとあるが、どのような支援をするのか。 ② 障がい者に対する理解の促進と支援、就労支援などを進めるとあるが、具体的にはどう進めるのか。	
5. 市民のチャレンジを応援について	① 5%の個人市民税・法人市民税の減税について、庁内プロジェクトチームを設置し調査研究を行うとある。減税の実現時期はいつになるのか。 ② スポーツや文化・芸術に触れる、関わる機会の提供とあるが、具体的に文化・芸術とは、何を想定しているのか。	
6. 活力ある市役所の実現について	① 市民、市職員との対話の機会の創出とはどう進めるのか ② 市役所からの情報発信の強化を図るとあるが、具体策を伺う。	
7. おわりにについて	① 基金の管理運用に関する課題も出てきたとされている。課題とは何か。また、課題に対する解決策を伺う。 ② 行政需要に優先順位をつけるとされている。何を基準に優先順位をつけるのか。	

6. 【公明党】 中村 晶代（30分）		
質 疑 事 項	質 疑 要 旨	備考
1. はじめにについて	第一に取り組まなくてはならないのは、暮らしを豊かにするまちづくりとして、物価高など生活に大きな影響を受けている方々の生活を守るための支援策など、スピード感を持って積極的な対応を進めていくとあるが、どのような対策を考えているのか、具体的な対策について伺う。	
2. 次世代の人材育成について	福津の未来を担うこども達の成長を第一に考え、子育て世帯への切れ目ない伴走支援やこどもの権利擁護、保育・教育の質の向上など、安心してこどもを産み育てやすい環境の整備に取り組んでいくとあるが、改めて今後の方向性を伺う。	
3. 産業と環境で未来を創造について	農水産業の就業者は担い手不足が進行し、その原因の一つに労働環境があるとして、持続可能なスマート農水産業を推進し、作業の効率化や省力化を図るとあるが、どのように取り組んでいくのか。	
4. 安心安全な共生社会の実現について	① 最期まで安心していきいきと暮らしていくことは、全ての人に共通する願いとし、心身共に自立し、「健康寿命」の延伸の流れを持続できるよう、生活習慣病などの将来の疾病の発症リスクを予防医療の推進などにより低減していくとあるが、今後さらにどのように進めていくのか伺う。 ② 身体の健康とともに、やりがいや生きがいなど心の健康も大切とし、特に高齢者が社会の第一線を退いた後の人生を実りあるものにしていくため、行政としてもその仕組みづくりを担うことで支援をし、デジタ	

	ルヘルスケアなどの推進に取り組むとあるが、具体的にどのように取り組んでいくのか伺う。 ③ 健康寿命の延伸に併せ、移動手段を確保していく必要があるとし、公共交通の行き届かない地域に対してはA I の活用による効率的なオンデマンド交通の導入を進めるとあるが、そのための実証実験などを含め、今後のスケジュールを伺う。 ④ 安心な暮らしを送る上で欠かせない災害への備えとして、インフラの維持管理などに加えて、防災訓練や避難計画等の作成への言及があるが、どのように進化させ、取り組んでいくのか伺う。	
5. 市民のチャレンジを 応援について	物価高から市民の日々の暮らしを守るため、個人市民税・法人市民税の5%減税をあげているが、他自治体での導入例や成果例を調査したのか。調査をしたのならどのような結果だったのか伺う。	
6. 活力ある市役所の実 現について	地方自治の本旨は、市民がこのまちに住んで良かったという満足度を向上していくこととし、そのためには市民が行政に対し何を求めているか、常にアンテナを張り把握することの必要性があるとし、市職員に対しても同様で対話の機会の創出を進めていくとある。また、対話などにより把握した市民ニーズに応じていくため、予算配分などの行政運営の仕組みも検討し、より効率的・効果的な財政運営に繋げていくとあるが、「静かな大衆」あるいは「物言わぬ多数派」といわれるサイレントマジョリティーの一般大衆の意見はどのように把握するのかを伺う。	
7. おわりにについて	先行きが不透明で将来の予測が困難な時代において、限られた財源の中で持続可能なまちづくりを進めるため、数ある行政需要に対し	

令和7年第5回 福津市議会定例会総括質疑（令和7年6月）

	緊急性・重要性等の観点から優先順位をつけ、柔軟に市政運営にあたる。また、その時々において最良と考える選択をしながら、福津の未来を見据えた市政運営に取り組むとあるが、“はじめに”の中の「市民の人生のステージごとに適切な支援」は守られるのか伺う。	
--	--	--